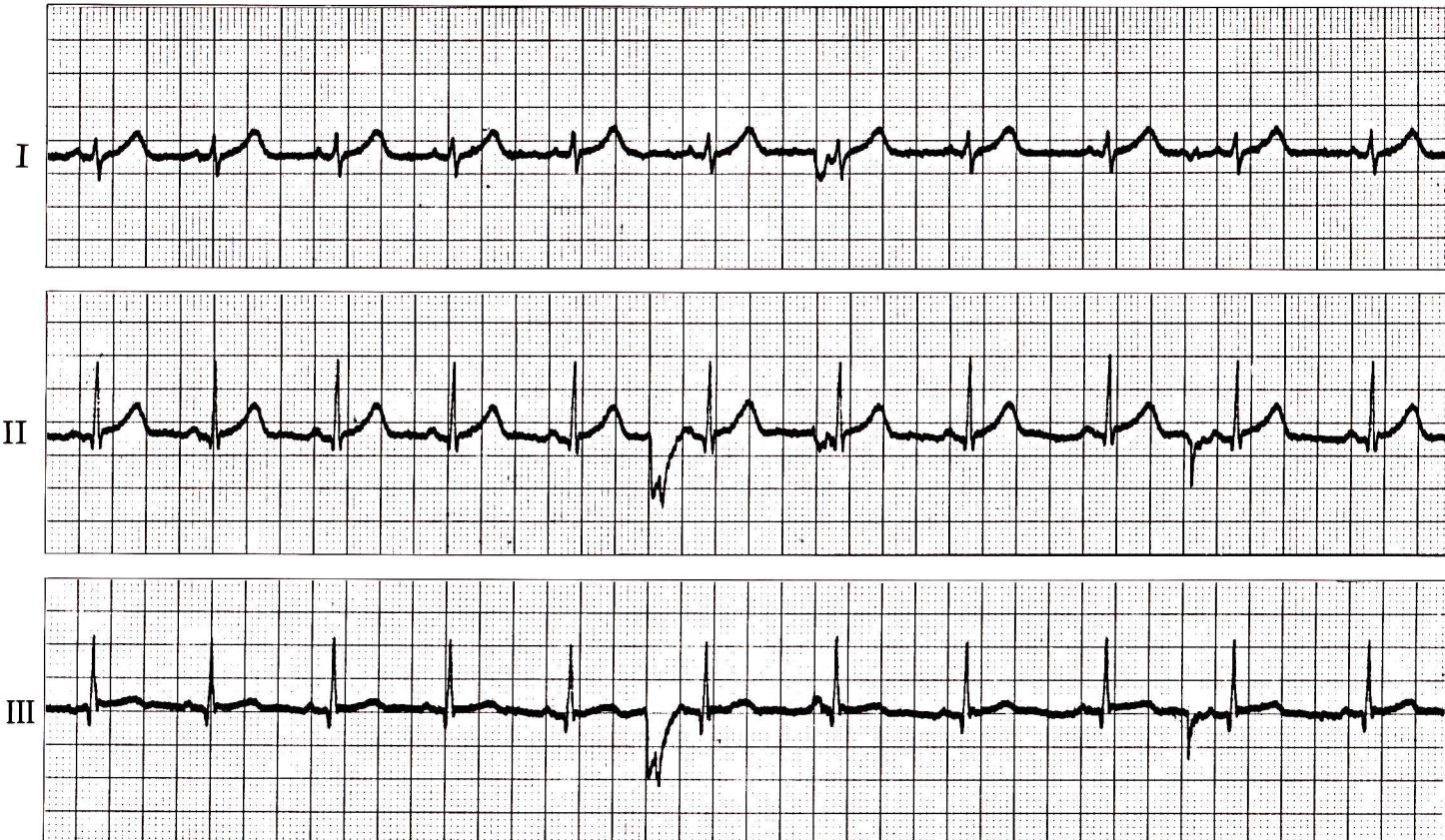


症例 39

●22歳 男

集団検診で心雜音を指摘され、精査のため来院。



1) このリズムは何か。

2) 処置は。

心電図診断

正常洞調律

RR間隔整、心拍数79/分。

P波とQRS波1対1に対応。QRS幅<0.12秒。

解 説

第II、III誘導の5拍目の後に幅広い陰性のフレ。間入性の心室性期外収縮のように見えるが、同時記録している第I誘導に何もでていない。

したがってこれはアーチファクト(artifact)であり、右足の導子の接触不良によるものと考えられる。同様のアーチファクトが6拍目、9拍目の後にも認められる。各導子を再点検して、記録しなおす必要がある。